

2024年10月31日

各位

会社名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー  
 代表者名 代表取締役 白岩直人  
 (東証プライム市場・コード:7172)  
 問合せ先 取締役管理本部長 杉本健  
 (TEL. 03-6550-9307)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年7月17日に公表いたしました、2024年12月期(2024年1月1日~2024年12月31日)通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2024年12月期通期 連結業績予想数値の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	28,900	10,500	10,900	7,100	117.39
今回発表予想 (B)	28,900	12,000	10,000	6,500	107.47
増減額 (B-A)	0	1,500	▲900	▲600	
増減率(%)	0.0%	14.3%	▲8.3%	▲8.5%	
(ご参考) 2023年通期連結実績	21,818	5,492	3,668	2,359	78.12

#### 2. 業績予想修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績は、主力事業のオペレーティング・リース事業が好調に推移し、営業利益は計画超過いたしておりますが、8月以降の急激な円高に伴い、多額の営業外為替差損を計上いたしました。

これにより、通期業績の営業利益は計画を超過する一方で、経常利益及び当期純利益は、計画を下回る見通しです。以下、詳細についてご説明いたします。

##### 【主な業績予想修正要因】

- ① 好調なオペレーティング・リース事業の動向により、営業利益を上方修正
  - ② 第3四半期の急激な円高に伴う営業外為替差損の影響により、経常利益・当期純利益を下方修正
- (期末ドル円為替レート…153円前提)

① 好調なオペレーティング・リース事業の動向により、営業利益を上方修正

[販売面]

- ・ 当第3四半期連結累計期間のオペレーティング・リース事業における商品出資金販売額は、過去最高額となる844億23百万円となりました。7～9月の商品出資金販売額は、前年同期に対し70億56百万円増加し、8四半期連続で前年同期を超過いたしました。
- ・ これら好調な販売動向を背景に、個別商品の収益性が向上いたしました。
- ・ リース付き機体のトレーディングが計画を超過いたしました。

➤ 主にこれらの要素により、通期営業利益は計画超過する見通し。

[組成面]

- ・ 新規組成は順調に進んでおります。これにより、期末の出資金残高は、過去最高額の1,237億円となる見通しです。

➤ これにより、中期経営計画における2025年の商品出資金販売額計画1,300億円相当の在庫を確保できる見通し。

----- (ご参考) 関連指標の推移 -----

A) 【商品出資金販売額の推移】

(単位:百万円)	期間	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
商品出資金 販売額	1-9 月	64,740	39,914	38,999	↑ 49,550	↑ 84,423
	通期	79,301	49,475	↑ 50,188	↑ 77,331	↑ (見込) 115,000

B) 【組成額の推移】

(単位:百万円)	期間	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
組成額 (借入+出資金)	1-9 月	72,852	59,326	↑ 131,525	↑ 165,978	↑ 184,940
	通期	95,064	↑ 104,821	↑ 192,090	↑ 259,702	↑ (見込) 288,761

C) 【商品出資金期末残高の推移】

(単位:百万円)	期間	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
商品出資金 残高	9月 末	32,501	7,672	↑ 32,649	↑ 83,612	↑ 109,750
	通期	28,431	18,871	↑ 46,587	↑ 94,266	↑ (見込) 123,700 (※)

(※) 別途、エアバスグループのBleriot社にプールしている機体が207億79百万円あり

② 第3四半期の急激な円高に伴う営業外為替差損の影響により、経常利益・当期純利益を下方修正

(下期計画)	2024年7月17日に発表した修正業績予想は、為替レート的前提を、期末までに、なだらかに1ドル=155円となることを前提として、計算しておりました。
(第3四半期実績)	6月末時点で、161.07円であったドル円為替レートは、9月末時点で1ドル=142.78円となり、3カ月間で18.29円の円高となりました。一時的に外貨建て資産エクスポージャーが拡大した時期に、急激な円高となったため、営業外為替差損が51億26百万円と大きく膨らみました。
(第4四半期見通し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月中に外貨建て資産の円貨への両替が進んでおり、10月単月の営業外為替差益を、約23億円計上する見込みです。</li> <li>また、外貨建て資産のエクスポージャーは、一時的な増額要素がなくなっており、この後の外貨建て資産のエクスポージャーは、約80百万ドル前後で安定する見通し。</li> </ul>

----- (ご参考) 関連指標の推移 -----

A) 【期末ドル円換算レートの推移】

期		上期	第3四半期	第4四半期	
		2024年6月末	2024年9月末	2024年10月末	2024年12月末
期末ドル円換算レート	計画	1ドル161.07円	<div style="text-align: center;">                       なだらかに円高となる計画                 </div>		
	実績	1ドル161.07円	1ドル142.73円 (実績)	1ドル153.00円 (見込)	1ドル153.00円 (見込)

B) 【外貨建て資産エクスポージャーの推移】

期		上期	第3四半期	第4四半期	
		2024年6月末	2024年9月末	2024年10月末	2024年12月末
外貨建て資産エクスポージャー金額	計画	約170百万ドル	外貨建て債権・債務決済、円両替などにより、ランダムに増減する計画		
	実績	約170百万ドル	約260百万ドル (実績)	約160百万ドル (見込)	約80百万ドル (見込)

一時的な外貨建て資産拡大時に急激な円高に
外貨建て資産100百万ドル減

C) 【営業外為替差損益の推移】

期間		上期	第3四半期	第4四半期	
		2024年1-6月	2024年7-9月	2024年10月	2024年11-12月
営業外為替差損益	計画	2,229百万円	なだらかに支払・円両替が進み、徐々に為替差損益が実現 期末レートで外貨建て資産残高を洗替える前提 ▲500百万円		
	実績	2,229百万円	▲5,126百万円 (実績)	+2,300百万円 (1ドル=153円時見込)	±0百万円 (1ドル=153円時見込)

### 3. 配当予想について

2024 年 12 月期 期末配当予想につきましては、変更ありません。

#### (業績予想等に関する注意事項)

---

本資料の業績予想等の記述は、発表時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績や事業環境は、今後様々な要因によって異なる可能性がございます。

以上

本件に関する問合せ先  
広報・IR室  
TEL:03-6550-9307